

# SERI NEWS RELEASE

平成 23 年 6 月 24 日

財団法人静岡経済研究所  
理事長 鈴木 一雄  
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13  
アゴラ静岡 5 階  
TEL054-250-8750  
FAX054-250-8770

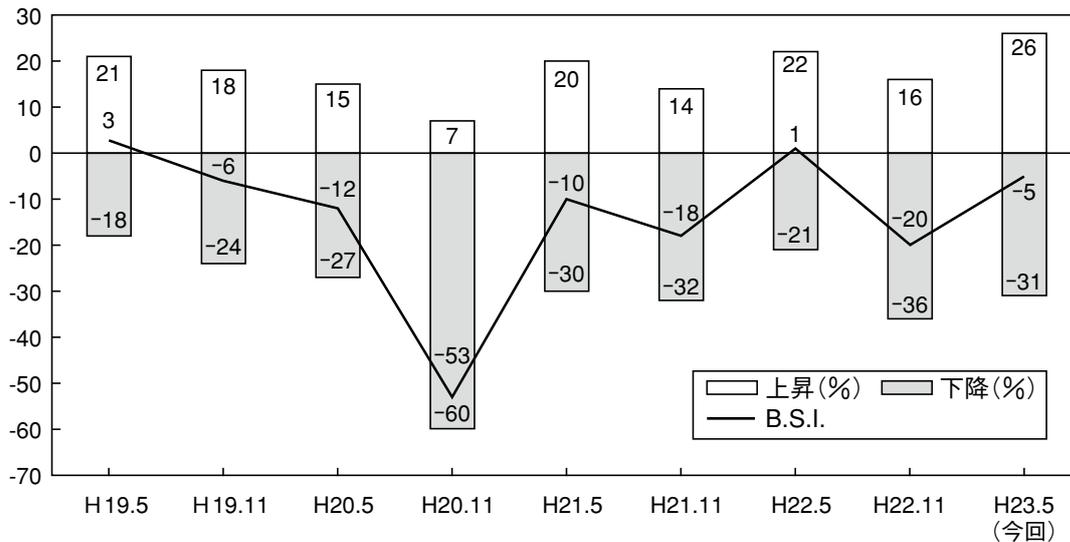
## 平成 23 年下期 「静岡県内企業経営者の景気見通し」調査(B.S.I.)

～B. S. I. は $\Delta 5$ と、前回の $\Delta 20$ と比べマイナス幅が縮小～

- 平成 23 年 5 月実施の「静岡県内企業経営者の景気見通し」調査では、平成 23 年 7～12 月期の B. S. I. (業界景気見通し指数) は、震災直後の落込みからの反転期待で、前回 22 年 11 月調査 ( $\Delta 20$ ) からやや改善して $\Delta 5$ となった。
- 業種別では、製造業が前回調査 ( $\Delta 16$ ) から今回 $\Delta 2$ と 2 期連続しての悪化見通しながらマイナス幅が縮小し、非製造業では $\Delta 8$ と、平成 19 年 11 月調査以降のマイナスが続いている。また、企業規模別では、大企業が前回調査の $\Delta 19$ から今回 $+10$ とプラスに転じ、中小企業は前回の $\Delta 20$ から $\Delta 6$ に改善した。

## 水面下の状況が続くものの、 落込みからの反転期待で景況見通しはやや改善

図表1 半期先の業界景況見通し



(注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通し（上昇、横ばい、下降）を数字であらわしたものである。前期に比べて上昇とみるものをx、横ばいとみるものをy、下降とみるものをzとして、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義する。すなわち、全員が上昇とみれば、B.S.I.は+100となり、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。言い換えれば、上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づく。上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

### 調査の要領

- (1) 調査目的：この調査は、当研究所が昭和38年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景況を調査することを目的にしている。
- (2) 調査対象：静岡県内に本社を置く主要法人企業。
- (3) 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- (4) 調査内容：①平成23年上期（1～6月）に比べた平成23年下期（7～12月）、および平成23年下期に比べた平成24年上期の自社の業績見通し  
②平成23年上期に比べた平成23年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し  
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- (5) 調査時点：平成23年5月
- (6) 回答状況：調査対象企業710社のうち、有効回答をよせられた企業は321社で、有効回答率は45.2%である。

## 業界景気見通し

### □悪化傾向続くが、マイナス幅は縮小

平成23年下期（7～12月）のB.S.I.（「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。図表1注参照）による業界景気見通しは、「上昇」（26%）が「下降」（31%）を△5ポイント下回り、悪化の見通しとなった。ただし、景況感が後退した前回（22年11月）調査と比べると、震災後の復興需要への期待、生産活動の復調見込みなどからマイナス幅は縮小している（図表1）。企業規模別では、大企業で「上昇」（36%）が「下降」（26%）を+10ポイント上回るものの、中小企業では「上昇」（25%）が「下降」（31%）を△6ポイント下回り、規模によって差が出た。

平成24年上期（1～6月）については、全体では「上昇」（28%）が「下降」（17%）を+11ポイント上回り、さらに回復期待が高まっている。また、企業規模別では、大企業が+24ポイント、中小企業が+8ポイントと、規模にかかわらず回復を見込む企業が増加している（図表2）。

## 業種別見通し

### □加工組立型製造業の好転見通し受け、製造業は水面近くに

次に、業種別の見通しをみると（図表2、3）、製造業、非製造業ともに前回調査よりマイナス幅は縮小した。製造業では、輸送用機械器具など加工組立型業種の見通し好転を反映しB.S.I.は△2、非製造業では△8となった。

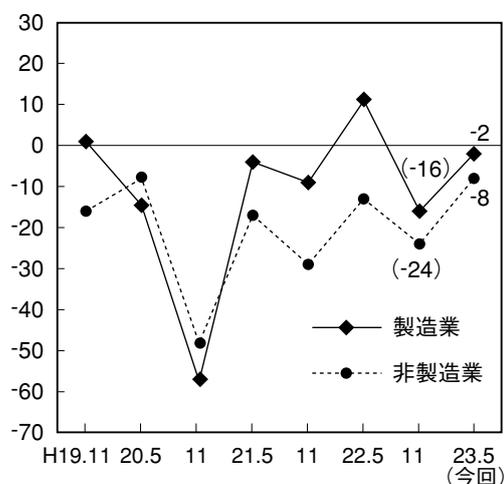
業種ごとにみると、全18業種のうち、「下降」が8業種、「横ばい」が3業種、「上昇」が7業種となった。前回調査と比較すると、「パルプ・紙・紙加工品」（△22→5）、「金属製品」（△26→16）、「輸送用機械器具」（△35→23）、「卸売業」（△21→6）の4業種が「下降」から「上昇」に転じている。一方で、「食料品」（△12→△21）、「鉄鋼・非鉄金属」（△15→△29）、「その他の製造業」（△8→△46）、「建設業」（△34→△36）の4業種で悪化見通しが増加している（7頁付表）。

図表2 業界景気見通し

（単位：％）

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業界景気					
		23年7～12月			24年1～6月		
		上 昇	横 ばい	下 降	上 昇	横 ばい	下 降
全企業	321	26	43	31	28	55	17
大企業	43	36	38	26	36	52	12
中小企業	278	25	44	31	26	56	18
製造業	177	28	42	30	30	55	15
大企業	16	56	31	13	56	31	13
中小企業	161	26	42	32	28	57	15
非製造業	144	23	46	31	24	55	21
大企業	27	23	42	35	23	65	12
中小企業	117	23	47	30	25	52	23

図表3 業界景気見通し推移（B.S.I.）



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。

注2) 「23年7～12月」は平成23年1～6月、「24年1～6月」は平成23年7～12月と比較した見通しである。